川西市立中央図書館
図書館システム更新における
情報提供依頼書（RFI）

令和7年7月

川西市立中央図書館

1 概要

(1) 件名

図書館情報システムの調達に係る情報提供依頼

(2) 目的

現在、図書の貸出・返却・資料検索や、UHF帯ICタグによるセルフ貸出機、蔵書点検の機能など、図書館にて必須なサービスを図書館情報システムにて使用しているが、現在利用中のシステムが令和8年2月末で契約終了となる。次期図書館情報システムの導入にあたっては、市場パッケージ製品を活用し、セキュリティゲートや、セルフ返却機、セルフ予約棚の導入などの検討や、様々なデジタルツールの活用により、市民サービスの拡充と職員の業務効率向上の実現を目指している。本情報提供依頼は、図書館情報システムの再構築に係るこれまでの検討結果について実現性・経済性の検証を目的として実施するものである。

(3) 提出物

図書館情報システムの調達に係る情報提供依頼（以下「本RFI」という。）の範囲は、次期図書館情報システムの利用に必要な次のものを対象範囲とする。

- ア 見積内訳書
- イ 貴社図書館システム機能仕様書
- ウ 貴社図書館システム提案書
 - ① システム概要
 - ② 導入スケジュール
 - ③ サポート体制
 - ④ その他、必要となる事項

2 情報提供の依頼内容等

資料の作成に当たっては、次の各項に記載する事項に留意して作成すること。

なお、資料を提供する範囲・提案に含める内容については、全部又は一部でも可とする。ただし、提案を実現するための費用については内訳明細も添付すること。

(1) 提案に含める内容

- ア 提案に当たっての前提事項
- イ 要件定義・システム導入・データ移行及び職員研修に係る費用
- ウ 別紙2の製品の納入、並びに5年間における運用経費（運用・保守）、機器にかかる費用の内訳（明細）

なお、機器については、可能な限り、主要製品の型番等の詳細情報も提供すること。
- エ システム構築に係る想定スケジュール案
- オ 標準的なネットワーク構成やインフラ構成、連携先の公民館図書室及び関係機関との接続方式

カ 業務継続措置

大規模災害時や、重大な機器等の故障等が発生した場合においても業務を継続することができる機能等

キ 関係機関の支援事項

システム構築・運用・保守等を実施するに当たって、関係機関に期待する作業等

ク 目的を達成するための取組

日本国内における他の自治体や他民間団体での実績を必ず示すこと。

特に、本市と同規模の自治体で、他館（公民館等）との連携もしている図書館の事例があれば望ましい。

ケ その他、システム構築・運用・保守等に必要と考えられる事項及び本市に有効と思われる提案、調達仕様書提示要件に対する提言（機能要件及び非機能要件等）

(2) 川西市立中央図書館の環境について

ア 仕様書及び機能要件について

添付1 「【別紙1】川西市立中央図書館情報システム更新業務仕様書」（案）

添付2 「【別紙2】川西市立中央図書館情報システム更新業務ハード機能要件書」（案）

添付3 「【別紙3】川西市立中央図書館情報システム更新業務システム機能要件書」（案）

イ 図書館情報（令和6年度の情報）

- ・ 図書の蔵書数：396,642冊（10館の合計値、うち図書館：297,460冊）
- ・ 電子書籍蔵書数：13,079冊
（株式会社図書館流通センター製の電子図書館システムと非連携。）
- ・ 図書の貸出数：655,166冊（10館の合計値、うち中央図書館：575,660冊）
- ・ 電子書籍の貸出数：16,030点
- ・ 電子書籍の閲覧数：31,604点
- ・ 集会室・視聴覚室：図書館運営に即した活動・登録が必要
- ・ 自習席：20席（利用図書館カードが必要）
- ・ 公衆無線LAN（Wi-Fi）

ウ 現在利用中の図書館システムについて

- ・ システム名：NECネクサソリューションズ株式会社製 LicsRe2 for SaaS
- ・ システム形態：クラウド方式

・ 主な機能：図書の検索関連、貸出関連、返却関連、予約関連、特集関連、弁償関連、利用者登録関連、図書受入・登録関連、除籍関連、県内相互貸借関連、蔵書点検（毎年1回、9公民館図書室は別で実施）、ICタグ（UHF帯）、セルフ貸出機

3 情報等の取扱い

本RFIにおいて、提供を受けた情報、資料は次のとおり取り扱うものとする。

- (1) 本RFIの事業については、現時点で予算の確保が保証されているものではなく、広く情報を得るための手段としたものであり、今後の調達における契約に対する意図や意味を持つものではないこと。
- (2) 本RFIに対して、どのような提案を受けても、それをもって将来の調達を約束するものではないこと。
- (3) 情報の提供を受けた事業者等に対し、後日、川西市立中央図書館から提出された資料等の内容等について照会又は追加の資料提供を依頼する場合があること。
- (4) 本RFIの実施に要する費用は、すべて事業者等の負担とすること。
- (5) 本RFIにおいて提供を受けた提案、資料等は返却しない。
- (6) 提供を受けた提案、資料等については、提供者に断りなく本市及び本市のICT施策に関する業務委託先以外には提供しない。
- (7) 提供を受けた提案、資料等については、今後実施を予定する調達の際の調達仕様書に反映する場合がある。

4 資料の提出方法等

(1) 資料の形式

資料については、紙媒体または電子データにて作成すること。日本工業規格A列4番（又はA列3番）で日本語により作成の上、下記に記載する提出先に提出社名又は機関等の名称、担当者氏名、担当者連絡先を明記すること。なお、紙媒体による提出の場合は2部提供すること。

同内容を電子データで提供する場合、その授受方法については、本市が別途、指示するオンラインストレージにより無害化処理を実施のうえ行うこととする。（電子データについて、CD等の外部記憶媒体による受取はできないので注意すること）

なお、電子媒体によるファイル形式はPDFまたは、「Microsoft Word」、「Microsoft Excel」、「Microsoft Power Point」で読み込み可能なファイル形式で作成すること。

(2) 提出期限

令和7年7月31日（木曜日）午後5時とする。

なお、E-Mailか直接持参する以外の方法による提出の場合は、必ず事前に下記6まで連絡すること。

5 本RFIに関する質問

本RFIに質問がある場合は、以下のとおりとする。

(1) 質問方法

別紙、【様式1】質問書に記載し、下記6に記載する照会先にE-Mailにて問い合わせることとし、件名については「RFIに関する質問」とすること。なお、郵送は不可とする。

(2) 質問受付期間

令和7年7月22日（月曜日）午後5時まで

(3) 質問に対する回答

令和7年7月28日（月曜日）以降に本館ホームページのRFI記事に掲載する。

6 照会及び資料の提出先

川西市立中央図書館 担当：田中

兵庫県川西市栄町25-1 アステ川西内

電話：072-755-2424

E-Mail：kawa0071■city.kawanishi.lg.jp

ただし、■は@に読み替えること。